

新型コロナウイルス関連肺炎に関する対応措置（第2報）

マスコミ報道等にて承知のとおり、中華人民共和国湖北省武漢市で発症した肺炎発症者は25日までに830人、死亡者数も26人に及び、中国以外の11の国（タイ・香港・シンガポール・マカオ・台湾・アメリカ・フランス・韓国・ベトナム・ネパール）においても、26名の感染が確認され、今後感染が拡大していく恐れが出てきました。

国内の感染者は2名（**24日に2人目の感染確認**）にとどまっており、WHOも緊急事態宣言を見送りましたが、春節によって、30億人が大移動、600万人以上が日本に来日すると想定されており、感染拡大が憂慮される事態となっております。

平成15年に流行した重症急性呼吸器症候群（SARS）と比較すると重症度は低いものの、感染力は強く、潜伏期間は長い（1週間前後）等の報道もあり、ヒトヒト感染を繰り返しながらウイルスが変異し、重症度が高まる可能性も懸念されております。

本学としては、文科省をはじめとした関係省庁の発表、ガイドライン等に基づき対応いたしますが、当面の対応方針、対応措置を下記のとおりといたしますので、特に海外に出国する場合は、予め外務省ホームページを参照して渡航計画（**中国湖北省武漢市は渡航禁止**）を見直すとともに、出国届を関係部署に届け出るようお願い致します。

なお、感染状況及び渡航安全情報は刻一刻と変化しますので、関係省庁のサイト情報等を注視するようにしてください。

記

1. 感染予防について

- (1) 手洗いの徹底を図ること。
- (2) 室内では、加湿器などを使用して乾燥を防ぐこと。
- (3) 休養、睡眠を十分にとり、規則正しい生活を送ることにより、体力や抵抗力を高め、体調管理を行うこと。
- (4) 人混みや繁華街への外出をできる限り控えること。
- (5) 「咳エチケット」を推奨すること。
 - ・咳やくしゃみが出るときはマスクを着用する。
 - ・マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけて1メートル以上離れる。
 - ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときはすぐに手を洗うこと。

2. 海外への出入国等について

- (1) 出国の際は、出国届を所管部署（学生支援G・寮務事務室）に届け出ること。
- (2) 渡航前に外務省ホームページを確認し、渡航計画の見直しを検討すること。
- (3) 武漢市から帰国した後、咳・発熱等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診し、発症国の滞在歴があること等を医師に申告すること。
- (4) 春節に伴って来日した武漢市からの渡航者と濃厚接触した場合は、1週間（潜伏期間）はマスクを着用し、感染拡大を防止すること。